



SUPERBIKE EXtra, EXpert and EXtreme EXPRESS--

2018 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP Final Round
The 50th MFJ Grand Prix SUPERBIKE RACE inSUZUKA

中須賀克行が自身のコースレコードを更新しダブルポール! 高橋巧、野左根航汰、渡辺一馬が、どこまでついて行けるか?!

今年も三重県・鈴鹿サーキットで最終戦を迎えた全日本ロードレース選手権。2018年は、全クラスのチャンピオンが、この最終決戦で決まることになる。

JSB1000クラスは、今シーズン2レース制が増えたが、いずれも土曜日にレース1、日曜日にレース2が行われるスケジュールだったが、最終戦は例年通り、2レースとも日曜日に行われる。レース1は超スプリントの10周、レース2は戦略が必要な20周となる。

今シーズンは、ここまで中須賀克行が8を挙げる圧倒的な強さを見せており221という大量ポイントを積み上げており、ランキングでも大幅にリードしている。2番手には、178ポイントの高橋巧がつけ、43ポイントもの大差がついている。仮にレース1で高橋巧が優勝したとしても、11位以上で中須賀がゴールすれば2年振り8回目のシリーズチャンピオンが決まる。中須賀が普通にレースを走り切って12位以下になることは、ほとんど考えられないだけにレース1で決まる可能性が限りなく高いと言えるだろう。当の中須賀、本人も下位で決める気は、全くなく勝って決める気満々だ。公式予選では、セッション開始早々に自身の持つコースレコードを更新する2分04秒517をマーク。セカンドタイムも2分04秒582と、ほぼ変わらないタイムを記録しダブルポールポジションを獲得した。セッション終盤では、3周続けて2分04秒

台で走り、10週のレース1でも2分04秒台に入れて来るかと尋ねると「2分04秒台は無理ですけど、2分05秒台で周回できると思います。コースレコードも更新できましたし、バイクも本人もいい状態でレースに臨めると思います。今年は、スタートがうまく行っていないので、焦らずに状況を見ながら自分のペースで走れば結果はついてくると思っています」とコメント。両レースとも中須賀が主導権を握りそうだ。

両レース2番手につけたのが高橋巧だ。自己ベストを更新する2分04秒945をマークし、着実な前進を見せている。

「2分04秒台で(中須賀選手に)走られるとタイヤにも厳しいので、10周とは言えタイヤマネジメントが必要になって来ますが、2分05秒台なら何とかなると思います。いずれにせよレース1の結果がレース2を左右することになるでしょう」と高橋巧。

YAMAHAとHondaのエースが2分04秒台を記録し、自己ベストを更新した野左根航汰が2分05秒台で両レースとも3番手につけた。

「初日の転倒から、あまりいい流れではなく2分06秒をなかなか切れないでいましたが、予選では、2分05秒台に入れることができました。前の2人の2分04秒台に比べると靄んでしまっていますが、2分05秒

台後半なら何とか食らいついて行きたいところです。最終戦をいい結果で終わりたいですね」と野左根。

渡辺一馬も自己ベストを更新しレース1は5番手、レース2は4番手とセカンドロウからスタートする。

「もう少しタイムを縮めておきたかったと言うのが本音ですが、まだ詰めるポイントがあるので、決勝日朝のウォームアップで試してレースに臨みたいですね。マシンも自分もよくなってきているのでレースの流れを変えるような走りをしたいと思っています」と渡辺。昨年もMFJ-GPではトップを走っただけに、その再現と行きたいところだろう。

スズキ勢では、スポット参戦のブラッドリー・レイがトップとなる2分05秒台をマークし、渡辺一樹、津田拓也、加賀山就臣が2分06秒台で続き、その後方には、ハルク・プロの水野涼、モリワキの高橋裕紀、清成龍一が2分07秒台で続いた。

レースは、中須賀がどんなペースで走るかによってトップグループの台数が決まって来そうだ。昨年のように渡辺一馬が前に出てペースを抑えればスズキ勢も加わる集団になる可能性もある。高橋巧が前に出ればペースを上げて台数を絞りたいところだろう。タイヤマネジメントも重要なファクターになってくるのは間違いない。いずれにせよ一番のアベレージを持つ中須賀が、どう動くに注目が集まるところだ。

JSB 1000
All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP



レース1ポールポジション: R 2'04.571
レース2ポールポジション: 2'04.582
#1 中須賀克行
YAMAHA FACTORY RACING TEAM

『木曜日から始まったレースウィーク。鈴鹿を走るのが久しぶりだったので苦労した部分もあったのですが走る度にフィーリングもよくなって来てタイムも安定して刻めるようになってきていました。金曜日の走行をいいタイムで終えることができていたので、公式予選でコースレコードを更新できる手応えがありました。実際に予選を走り始めたところ風も少なかったですし、風向きも金曜日と逆になっていたので走りやすいコンディションだったので、すぐにタイムが出てホットした部分もあったのですが、まだ詰められる自信もあったのでセッション終盤にもアタックしました。プッシュしていたところベースの違うマシンに引かかった部分もありタイムを更新することはできなかったのですが、まだまだタイムを伸ばせたいと思います。それは次の機会にとって日曜日の2レースをしっかりと戦おうと思っています。高橋巧選手も調子がよさそうですし、最終戦にける思いは強いと思いますが、それに負けないように自分もしっかりレースを組み立てていいバトルをしたいですね』

公式予選正式結果 JSB1000[Race1]

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走28台
●決勝[Race1]スタート進行/10:45(10周)

| Pos | No | Rider | Team | Time |
|-----|-----|-----------|-------------------------------|------------|
| 1 | 21 | 中須賀 克行 | YAMAHA FACTORY RACING TEAM | R 2'04.571 |
| 2 | 1 | 高橋 巧 | Team HRC | 2'04.945 |
| 3 | 5 | 野左根 航汰 | YAMAHA FACTORY RACING TEAM #5 | 2'05.347 |
| 4 | 28 | ブラッドリーレイ | ヨシムラスズキMOTUL | 2'05.438 |
| 5 | 11 | 渡辺 一馬 | Kawasaki Team GREEN | 2'05.642 |
| 6 | 26 | 渡辺 一樹 | ヨシムラスズキMOTUL | 2'06.093 |
| 7 | 12 | 津田 拓也 | ヨシムラスズキMOTUL | 2'06.153 |
| 8 | 71 | 加賀山 就臣 | Team KAGAYAMA | 2'06.837 |
| 9 | 634 | 水野 涼 | MuSASHI RT HARC-PRO.Honda | 2'07.297 |
| 10 | 72 | 高橋 裕紀 | KYB MORIWAKI MOTUL RACING | 2'07.396 |
| 11 | 23 | 清成 龍一 | KYB MORIWAKI MOTUL RACING | 2'07.523 |
| 12 | 090 | 秋吉 耕佑 | au・テルルMotoUP RT | 2'07.788 |
| 13 | 51 | ザクワン サイディ | Honda Asia-Dream | 2'08.057 |
| 14 | 25 | 生形 秀之 | エスパルスドリームレーシング・IAI | 2'08.080 |
| 15 | 14 | 中富 伸一 | HITMAN RC KOSHIEEN YAMAHA | 2'08.373 |
| 16 | 20 | 日浦 大治朗 | Honda Suzuki Racing Team | 2'08.457 |
| 17 | 7 | 濱原 暁道 | Honda Dream RT 桜井ホンダ | 2'08.581 |
| 18 | 8 | 山口 辰也 | Team SuP Dream Honda | 2'08.590 |
| 19 | 46 | 星野 知也 | STONE RT SYNCEDGE4413 | 2'09.008 |
| 20 | 31 | 津田 一磨 | Team Baby Face | 2'09.153 |
| 21 | 35 | 近藤 湧也 | JOYNET GBSレーシングYAMAHA | 2'10.695 |
| 22 | 34 | 岡村 光矩 | KRP三陽工業&RS-ITOH | 2'10.963 |
| 23 | 43 | 中津原 尚宏 | ATJ Racing | 2'11.054 |
| 24 | 70 | 清末 尚樹 | チーム阪神ライディングスクール | 2'11.816 |
| 25 | 40 | 小島 一浩 | Honda 緑陽会熊本レーシング | 2'12.032 |
| 26 | 37 | 須貝 義行 | チームスガイレージングジャパン | 2'12.273 |
| 27 | 22 | 児玉 勇太 | Team Kodama | 2'12.328 |
| 28 | 91 | 柴田 義将 | リリカ AMENA | 2'13.067 |

以上予選通過車両:
開始時刻: 13:20'00
"R"マークの車は、コースレコードを更新しました。
従来のレコードタイムは 2'04.876
予選通過基準タイム (108%) 2'14.950

JP 250 Presented by DUNLOP

成田彬人(INT)、齊藤魁(NAT)が優勝
タイトルは笠井悠太(INT)、家根谷大晟(NAT)

2018 MFJカップJP250選手権 第6戦の決勝レースは成田彬人が絶好のスタートを決めて始まった。レースはその直後に付けた笠井悠太の2台がリード。終始バトルを展開して順位を入れ替える2台だったが、最終ラップの攻防を制した成田が優勝。複数台で激しく展開されていた3位争いは、砂泊孝太が集団のトップでチェッカーを受けた。タイトルはインターが笠井、ナショナルは家根谷大晟が獲得した。



インタークラス表彰台

決勝正式結果(8周/上位10位)

●11月3日(土)予選・決勝 天候/晴 路面/ドライ 出走44台

| Pos | No | Cls. | Rider | Team | RaceTime |
|-----|-----|------|--------|------------------------|-----------|
| 1 | 92 | I | 成田 彬人 | Team HIRO | 20'08.790 |
| 2 | 20 | I | 笠井 悠太 | TEAM TEC-2 | 20'09.114 |
| 3 | 23 | I | 砂泊 孝太 | TEAM idea | 20'18.734 |
| 4 | 1 | I | 安田 毅史 | TEAM AGRAS with NOJIMA | 20'19.392 |
| 5 | 90 | N | 齊藤 魁 | テルル・MotoUP レーシング | 20'19.406 |
| 6 | 36 | N | 佐々木 将也 | GO&FUN Racing | 20'19.643 |
| 7 | 392 | I | 村瀬 健琉 | シクニ テリー&カリ | 20'19.716 |
| 8 | 5 | N | 家根谷 大晟 | キジマKISSレーシングチーム | 20'20.250 |
| 9 | 55 | I | 中沢 寿寛 | i-FACTORY&Mガレージ | 20'20.596 |
| 10 | 49 | N | 松岡 玲 | MTR Racing | 20'20.719 |

J-GP2
All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

岩戸亮介がレコード更新でポールポジション!
「目標に向かって決勝レースではいつも通り集中して走りたい」



岩戸 亮介

J-GP2クラス、30分間の公式予選セッションでは、タイトルを争う関口太郎と岩戸亮介の二人がタイムを塗り替えるポジション争いを展開した。関口太郎が2分11秒198でその時点の2番手名越哲平の12秒568を大きく引き離す。岩戸も11秒289で2番手につける。中盤頃には榎戸育寛が11秒539、名越も11秒631をマークして3番手、4番手に上げてきた。

しかし、圧巻だったのが残り5分ほどからの数周にわた

る関口と岩戸の走り。先に関口が区間タイムでベストを連発する中、岩戸が後方からそれを更新しながらアタックしていく。関口は10秒974をマークし10秒台に入れるが、岩戸はそれを上回る9秒813でトップに浮上。二人はそのままそれを継続し、関口は10秒244まで上げるが、岩戸は9秒465とレコードタイムをブレイクする走り、5戦6レース連続となるポールポジションを決めた。3番手には榎戸が10秒台に入る10秒856が入った。



ポールポジション: 2'09.465
#4 岩戸 亮介
Team高武 RSC

『ウィークの最初からドライコンディションで路面状況も良く、走り始めから良いセッティングが見つかって、それを進めていった結果です。2分9秒529というレコードタイムは、当時は想像もつかなくて。でも今年には行けるんじゃないか、と思っていました。大事なのは決勝なんですけど、今日は予選タイムにこだわって走ったのが良かったですね。初めてのチャンピオン争いですが、目標は1000ccで戦うことなので、自分の中で最も重要なのは明日のレースで勝つことです。とにかくいつも通り、一番前でゴールできるように集中して走りたいです』

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW



小山知良、14年振りのポールポジションを獲得!! 「スタートから強い気持ちで自分のレースをしたい!」



小山知良

南本宗一郎、佐野優人、佐野勝人ら若手ライダーが13秒台で上位につける中に混じって、1ポイント差でポイントリーダーのベテラン小山知良が序盤から2分13秒557でトップに立つ。佐野優人が2分13秒317で逆転するも、その直後には小山が2分12秒台に突入する12秒983をマークしトップに返り咲く。

中盤にはアタックも小康状態となるが、再び終盤に各車がアタックに挑んだ。しかし木曜日の走行から絶好調の小山を上回るライダーは現れず、小山知良が

2004年の岡山国際(当時:TIサーキット英田)以来となるポールポジションを決めた。2番手には佐野優人、3番手には2分13秒464で佐野勝人がつけた。

南本が序盤の2分13秒572で4番手、國峰琢磨が2分13秒626、長尾健吾も2分13秒693と13秒台で続く。小山とタイトルを争う岡本裕生は2分13秒703で7番手からのスタートとなった。



ポールポジション: 2'12.983
#230 小山 知良
日本郵便 Honda Dream

『目標タイムはレコード(2分11秒920)だったんですけど、ウィークを通じてなかなか13秒も切れなくて。それでも12秒9と12秒に入ったので、良かったかな。ポールポジション自体は2004年以来なので、14年振りなんですけど、自分でも驚きました(笑)。WGPでも1000分の何秒かの差で2番手というのはイヤというほどあったんですけどね。だから決勝レースで18年振りのチャンピオンに向けて良い弾みがついかと思ってます(笑)。ウィークを通してずっとマシンも人間も調子も状態も良くて、今シーズンずっとレース序盤からタイムを上げられるように走っていたので、今回もスタートから強い気持ちで自分のレースをしていきたいと思います』

J-GP3
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

長谷川聖が今季初ポールポジション! 「落ち着いて走れば、決勝でもいける!」



長谷川聖

金曜日までの快晴とは変わり、曇りが広がる空となった公式予選日。J-GP3クラスの30分間セッションが始まった。木曜日、金曜日の練習走行などからトップや上位タイムをマークしていた中島元氣、長谷川聖、小室旭らが、この日もセッション開始早々から上位につける。序盤に早くも2分18秒261でトップに立ったのはランキングトップの中島。その直後に長谷川も18秒644まで上げて2番手に浮上、小室、宇井陽一が

19秒台で続く。

終盤を前にして長谷川が18秒240までタイムアップしてトップに立つ。その後各車最後のアタックを試みるが、長谷川がそのまま昨年開幕戦筑波以来のポールポジションを獲得した。2番手に中島、最後にタイムを18秒833まで上げた宇井が3番手。菅原陸が19秒042、福嶋佑斗が19秒257、小室が19秒378でセカンドロウに並んだ。



ポールポジション: 2'18.240
#13 長谷川 聖
CLUB Y's & J

『特別スポーツ走行からしっかり走る事ができていて、結構良いタイム、フィーリングで走ることができていました。しかし、(中島)元氣くんがすごく速くて、(自分に)これ以上伸び代があるかな?と思っていたんですけど、走る度にセッティングが進んで行って、単独で目標より1秒以上速いベストタイムが出たので、自分でもちょっと驚いています。セッティングを進めてくれたメカニック、監督、チームの皆さんに感謝しています。決勝レースは、去年のポールを取った筑波では、最初から逃げ切ろうとして勢い込んで走ったら、案の定すぐ転倒してしまったので、落ち着いて走れば、単独でもタイムを出せているので、いけるかなと思っています』

MFJ Superbike the50th MFJ Grand Prix SUPERBIKE RACE in SUZUKA 03 - 04 Nov. 2018 公式予選結果



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走28台
●決勝[Race2]スタート進行/15:00(20周)

JSB1000[Race2] セカンドラップタイム 正式結果表

| Pos | No. | Name | Team | Machine | BestTime |
|-----|-----|-----------|-------------------------------|-----------------|----------|
| 1 | 21 | 中須賀 克行 | YAMAHA FACTORY RACING TEAM | YZF-R1 | 2'04.582 |
| 2 | 1 | 高橋 巧 | Team HRC | CBR1000RR SP2 | 2'05.064 |
| 3 | 5 | 野左根 航汰 | YAMAHA FACTORY RACING TEAM #5 | YAMAHA YZF-R1 | 2'05.848 |
| 4 | 11 | 渡辺 一馬 | Kawasaki Team GREEN | ZX-10RR | 2'06.103 |
| 5 | 26 | 渡辺 一樹 | ヨシムラスズキMOTUL | GSX-R1000L8 | 2'06.309 |
| 6 | 28 | ブラッドレー レイ | ヨシムラスズキMOTUL | GSX-R1000L8 | 2'06.335 |
| 7 | 12 | 津田 拓也 | ヨシムラスズキMOTUL | GSX-R1000L8 | 2'06.697 |
| 8 | 71 | 加賀山 就臣 | Team KAGAYAMA | GSX-R1000 | 2'07.002 |
| 9 | 634 | 水野 涼 | MuSASHI RT HARC-PRO.Honda | CBR1000RR SP2 | 2'07.530 |
| 10 | 23 | 清成 龍一 | KYB MORIWAKI MOTUL RACING | CBR1000RR SP2 | 2'07.633 |
| 11 | 090 | 秋吉 耕佑 | au-テルルMotoUP RT | CBR1000RR SP2 | 2'07.803 |
| 12 | 72 | 高橋 裕紀 | KYB MORIWAKI MOTUL RACING | CBR1000RR SP2 | 2'07.948 |
| 13 | 25 | 生形 秀之 | エスバルスドリームレーシング・IAI | GSX-R1000 | 2'08.156 |
| 14 | 51 | ザクワン サイディ | Honda Asia-Dream | CBR1000RR SP2 | 2'08.263 |
| 15 | 20 | 日浦 大治朗 | Honda Suzuka Racing Team | CBR1000RR SP2 | 2'08.622 |
| 16 | 7 | 濱原 颯道 | Honda Dream RT 桜井ホンダ | CBR1000RR SP2 | 2'08.687 |
| 17 | 8 | 山口 辰也 | Team SuP Dream Honda | CBR1000RR SP2 | 2'08.691 |
| 18 | 14 | 中富 伸一 | HITMAN RC KOSHIEI YAMAHA | YZF-R1 | 2'08.718 |
| 19 | 46 | 星野 知也 | STONE RT SYNCEEDGE4413 | BMW S1000RR | 2'09.315 |
| 20 | 31 | 津田 一磨 | Team Baby Face | YZF-R1 | 2'09.635 |
| 21 | 35 | 近藤 湧也 | JOYNET GBSレーシングYAMAHA | YZF-R1 | 2'10.888 |
| 22 | 34 | 岡村 光矩 | KRP三陽工業&RS-ITOH | ZX-10RR | 2'11.142 |
| 23 | 43 | 中津原 尚宏 | ATJ Racing | CBR1000RR | 2'11.359 |
| 24 | 70 | 清水 尚樹 | チーム阪神ライディングスクール | ZX-10RR | 2'11.957 |
| 25 | 40 | 小島 一浩 | Honda 緑陽会熊本レーシング | CBR1000RR | 2'12.107 |
| 26 | 22 | 児玉 勇太 | Team Kodama | YZF-R1 | 2'12.505 |
| 27 | 37 | 須貝 義行 | チームスガイレレーシングジャパン | aprilia RSV4 RF | 2'12.882 |
| 28 | 91 | 柴田 義将 | リリカ AMENA | YZF-R1 | 2'13.179 |

以上予選通過車両:
開始時刻: 13:20'00

Supported by BRIDGESTONE



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走33台
●決勝スタート進行/11:40(12周)

| Pos | No. | Name | Team | Machine | BestTime |
|-----|-----|--------|----------------------------|----------------|----------|
| 1 | 230 | 小山 知良 | 日本郵便 HondaDream | Honda CBR600RR | 2'12.983 |
| 2 | 97 | 佐野 優人 | BATTLE FACTORY | Honda CBR600RR | 2'13.317 |
| 3 | 98 | 佐野 勝人 | TEAM VITALSPIRIT | Honda CBR600RR | 2'13.464 |
| 4 | 9 | 南本 宗一郎 | AKENO SPEED-YAMAHA | YAMAHA YZF-R6 | 2'13.572 |
| 5 | 55 | 國峰 啄磨 | 日本郵便 HondaDream | Honda CBR600RR | 2'13.626 |
| 6 | 16 | 長尾 健吾 | 善光会TEAMけんげん+BEE | YAMAHA YZF-R6 | 2'13.693 |
| 7 | 51 | 岡本 裕生 | 51カラーズ チームイワキ | YAMAHA YZF-R6 | 2'13.703 |
| 8 | 12 | 古山 頌太 | 伊藤レーシング | YAMAHA YZF-R6 | 2'14.134 |
| 9 | 43 | 中山 耀介 | TEAM SHOTA | YAMAHA YZF-R6 | 2'14.272 |
| 10 | 74 | 稲垣 誠 | AKENO SPEED-YAMAHA | YAMAHA YZF-R6 | 2'14.421 |
| 11 | 18 | 杉山 優輝 | MOTOBUM HONDA | Honda CBR600RR | 2'14.622 |
| 12 | 14 | 仲村 優佑 | AKENO SPEED-YAMAHA | YAMAHA YZF-R6 | 2'14.723 |
| 13 | 17 | 行村 和樹 | TOHO Racing Club | Honda CBR600RR | 2'14.965 |
| 14 | 71 | 上原 大輝 | Mistress RT HARC-PRO. | Honda CBR600RR | 2'15.347 |
| 15 | 8 | 名越 公助 | GBS YAMAHA マツエゼン忠男 | YAMAHA YZF-R6 | 2'15.424 |
| 16 | 40 | 安田 毅史 | Team Plusone | YAMAHA YZF-R6 | 2'15.440 |
| 17 | 57 | 奥田 教介 | Team MF & Kawasaki | Kawasaki ZX-6R | 2'15.687 |
| 18 | 45 | 丹羽 貴大 | OZT Racing with YSP名古屋西 | YAMAHA YZF-R6 | 2'15.772 |
| 19 | 52 | 関野 海斗 | 51カラーズ チームイワキ | YAMAHA YZF-R6 | 2'15.856 |
| 20 | 420 | 亀井 駿 | 日本郵便 HondaDream | Honda CBR600RR | 2'16.023 |
| 21 | 76 | 長谷川 修大 | Honda Suzuka Racing Team | Honda CBR600RR | 2'16.118 |
| 22 | 27 | 田尻 悠人 | GOSHI Racing | Honda CBR600RR | 2'16.353 |
| 23 | 38 | 小山 葵 | AKENO SPEED-YAMAHA | YAMAHA YZF-R6 | 2'16.505 |
| 24 | 090 | 中村 龍之介 | au-テルルMotoUP RT | Honda CBR600RR | 2'16.688 |
| 25 | 41 | 梅田 虎太郎 | MOTOBUM HONDA REVES | Honda CBR600RR | 2'16.705 |
| 26 | 54 | 黒木 玲徳 | GOSHI Racing | Honda CBR600RR | 2'16.745 |
| 27 | 26 | 西嶋 修 | チーム阪神ライディングスクール | Kawasaki ZX-6R | 2'16.868 |
| 28 | 28 | 松川 泰宏 | MOTOBUM HONDA+SAI | Honda CBR600RR | 2'17.229 |
| 29 | 44 | 平野 ルナ | TEAM ENDLESS by SHANTI SSM | Honda CBR600RR | 2'17.272 |
| 30 | 23 | 中村 豊 | MOTOBUM×CRYPTOHARBOR | Honda CBR600RR | 2'17.597 |
| 31 | 36 | 桜井 賢一 | MOTOBUM HONDA | Honda CBR600RR | 2'18.234 |
| 32 | 75 | 櫻山 茂昇 | 地域活性化Project・Team長野&NEXT | Honda CBR600RR | 2'18.305 |
| 33 | 35 | 長嶋 修一 | 大道建設モータルファ | YAMAHA YZF-R6 | 2'18.475 |

以上予選通過車両:

開始時刻: 10:25'00

予選通過基準タイム (108%) 2'23.915



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走29台
●決勝スタート進行/9:45(12周)

| Pos | No. | Cls. | Name | Team | Machine | BestTime |
|-----|-----|------|--------|-------------------------|---------------|----------|
| 1 | 13 | | 長谷川 聖 | CLUB Y's & J | Honda NSF250R | 2'18.240 |
| 2 | 4 | | 中島 元気 | TEAM SRS-Moto | Honda NSF250R | 2'18.261 |
| 3 | 41 | | 宇井 陽一 | 41Planning | IODA TR-004 | 2'18.833 |
| 4 | 93 | | 菅原 陸 | RG NIWA with オーテック・スズカ | Honda NSF250R | 2'19.042 |
| 5 | 36 | | 福岡 佑斗 | Team Plusone | Honda NSF250R | 2'19.257 |
| 6 | 71 | | 小室 旭 | Team P.MU 7C MIKUNI | Honda NSF250R | 2'19.378 |
| 7 | 29 | | 鈴木 大空翔 | BATTLE FACTORY | Honda NSF250R | 2'19.832 |
| 8 | 61 | | 岡谷 雄太 | MORIWAKI CLUB | Honda NSF250R | 2'20.242 |
| 9 | 33 | | 中山 愛理 | TEAM SHOTA | Honda NSF250R | 2'20.305 |
| 10 | 16 | | 高杉 奈緒子 | 41Planning | Honda NSF250R | 2'20.314 |
| 11 | 3 | | 古市 右京 | KTM . ASPIRATION RACING | KTM RC250R | 2'20.322 |
| 12 | 6 | | 安村 武志 | 犬の乳酸菌.jp/プリミティブR.T | PRCS PRCS3d | 2'20.384 |
| 13 | 55 | E | 有田 光 | Team RSC | Honda NSF250R | 2'20.436 |
| 14 | 090 | | 藤井 謙汰 | au-テルルMotoUP RT | Honda NSF250R | 2'20.931 |
| 15 | 12 | | 山本 泰裕 | チームライブ・ドリーム北九州 | Honda NSF250R | 2'21.232 |
| 16 | 15 | | 岡崎 静夏 | Kohara Racing Team | Honda NSF250R | 2'21.512 |
| 17 | 45 | | 鈴木 孝志 | 41Planning | Honda NSF250R | 2'21.568 |
| 18 | 51 | E | 中島 陽向 | SRS コチラレーシング | Honda NSF250R | 2'21.812 |
| 19 | 54 | E | 細谷 翼 | SRS コチラレーシング | Honda NSF250R | 2'22.071 |
| 20 | 26 | | 金子 寛 | iレーシング AutoMac 翔天恭 | Honda NSF250R | 2'22.706 |
| 21 | 23 | | 岸田 慶一 | FLEX Racing & MH OHARA | Honda NSF250R | 2'23.449 |
| 22 | 57 | E | 濱田 寛太 | SRS コチラレーシング | Honda NSF250R | 2'23.757 |
| 23 | 37 | | 坪川 浩明 | 犬の乳酸菌.jp/プリミティブR.T | PRCS PRCS3d | 2'23.980 |
| 24 | 34 | | 村田 浩彦 | CLUB Y's & J | Honda NSF250R | 2'24.340 |
| 25 | 17 | | 野澤 秀典 | ノザワレーシングファミリー | Honda NSF250R | 2'24.562 |
| 26 | 30 | | 太田 虎之進 | WJ-FACTORY | Honda NSF250R | 2'24.856 |
| 27 | 19 | | 白石 玲菜 | Dreamline Team REINA | Honda NSF250R | 2'25.246 |
| 28 | 32 | | 橋本 拓実 | WJ-FACTORY | Honda NSF250R | 2'25.963 |
| 29 | 20 | | 畑中 要 | FTR・タイヤナビ(株)遠藤住宅 | Honda NSF250R | 2'26.400 |

以上予選通過車両:

開始時刻: 09:45'00

予選通過基準タイム (108%) 2'29.520

※「E」は特別参加枠当該選手となります。



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走20台
●決勝スタート進行/13:30(12周)

| Pos | No. | Name | Team | Machine | BestTime |
|-----|-----|--------------|---------------------------|-----------------|----------|
| 1 | 4 | 岩戸 亮介 | Team 高武 RSC | MORIWAKI MD600 | 2'09.465 |
| 2 | 44 | 関口 太郎 | SOX Team TARO PLUSONE | Honda HP6 | 2'10.244 |
| 3 | 34 | 榎戸 育寛 | Kohara Racing Team | KALEX | 2'10.856 |
| 4 | 634 | 名越 哲平 | MuSASHI RT HARC-PRO. | Honda HP6-q | 2'11.395 |
| 5 | 16 | 作本 輝介 | Team 高武 RSC | MORIWAKI MD600 | 2'11.708 |
| 6 | 71 | 三原 壮紫 | TONE RT SYNCEEDGE4413 | Honda HP6 | 2'11.723 |
| 7 | 7 | 石塚 健 | will-raise racingRS-ITOH | Kawasaki ZX-6R | 2'11.988 |
| 8 | 25 | 伊藤 勇樹 | 伊藤レーシング | YAMAHA YZF-R6 | 2'12.025 |
| 9 | 10 | KUBO KEMINTH | 伊藤レーシング | YAMAHA YZF-R6 | 2'12.336 |
| 10 | 70 | 岩崎 哲朗 | OGURA CLUTH with RIDE IN | Kawasaki ZX-6R | 2'12.341 |
| 11 | 392 | 尾野 弘樹 | ミツニ テリー&カリー | SUZUKI GSX-R600 | 2'12.461 |
| 12 | 64 | 伊達 悠太 | KIMA Racing | Honda HP6 | 2'12.721 |
| 13 | 36 | 徳留 真紀 | マルマエPLUSONE | SPEED-UP | 2'12.767 |
| 14 | 090 | 中村 修一郎 | au-テルルMotoUP RT | KALEX KALEX | 2'12.904 |
| 15 | 29 | 和田 留佳 | will-raise racingRS-ITOH | Kawasaki ZX-6R | 2'13.408 |
| 16 | 12 | 大木 崇行 | Kohara Racing Team | Honda HP6 | 2'14.514 |
| 17 | 31 | 豊島 怜 | DOG FIGHT RACING-YAMAHA | YAMAHA YZF-R6 | 2'14.963 |
| 18 | 30 | 阿部 恵斗 | Webike チームブリックヤマハ | YAMAHA YN6 | 2'15.007 |
| 19 | 32 | 井手 翔太 | HITMAN RCKOSHIEI YAMAHA | YAMAHA YZF-R6 | 2'15.962 |
| 20 | 77 | 筒井 伸 | O-TEC suzuka usuki- R & D | YAMAHA YZF-R6 | 2'16.730 |

以上予選通過車両:

開始時刻: 12:35'00

"R"マークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 2'09.529

予選通過基準タイム (108%) 2'20.603

●2018年全日本ロードレース選手権各クラス最新ランキング(第8戦岡山国際大会終了時の暫定)

[JSB1000クラス] 1位/中須賀 克行(221) 2位/高橋 巧(178) 3位/渡辺 一馬(163.5) 4位/野左根 航汰(146) 5位/高橋 裕紀(134.5)

[J-GP2クラス] 1位/岩戸 亮介(129.5) 2位/関口太郎(113) 3位/作本 輝介(89) 4位/岩崎 哲朗(85.5) 5位/名越 哲平(83)

[ST600クラス] 1位/小山 知良(121) 2位/岡本 裕生(120) 3位/長尾 健吾(87.5) 4位/國峰 啄磨(85.5) 5位/亀井 雄大(78)

[J-GP3クラス] 1位/中島 元気(111) 2位/岡谷 雄太(107.5) 3位/小室 旭(89) 4位/長谷川 聖(77) 5位/菅原 陸(74)

※全日本ロードレース選手権ポイントシステム:優勝(25) 2位(22) 3位(20) 4位(18) 5位(16) 6位(15)→以下20位まで1点刻み→20位(1)

※MFJ-GPでは、各順位にボーナスポイント3点がそれぞれ加算、JSB1000クラスは各レース毎にポイントが加算されます。

INFORMATION

RIDE & DRIVE 全日本ロードレース& 全日本モトクロスを無料放送

MFJが管轄するロードレース、モトクロスの各全日本選手権シリーズ全戦が、無料BS放送のBS12(番組名「RIDE&DRIVE」)で、モーターサイクルスポーツバラエティとして放送! 放映日時は毎月最終金曜の21:30~22:00になりました。

★詳しい放映スケジュール等はファンサイトで!

《放映スケジュール》

12月の総集編まで毎月最終金曜の21:30~22:00に放送!!



インターネットライブ中継&動画配信も充実!!



全日本ロードレース選手権は全戦・全クラスの予選・決勝をライブ配信! 今年からカメラ位置・アングルを充実、より迫力ある映像をお届けします。※通信環境により遅延配信となる場合もあります



YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

詳しくはファンサイトで → <http://superbike.jp/>

